

## 大阪市立市岡東中学校

# 元気アップ便り

元気アップコーディネーター 千葉清二

こんにちは。今年の節分は今日 2 月 2 日ですね。したがって、立春は明日 2 月 3 日となります。立春などの二十四節気は「地球と太陽の位置関係」で決められるので、少しずれることがあるのだそうです。

さて、3 年生の皆さんはいよいよ入試本番の月となりました。コロナ対策などしっかりして体調を整えて、受験に臨んでください。皆さんはまだまだ遠い未来と思っているでしょうが、大学入学共通テストも先日実施されました。日本の知識偏重教育の反省から、「問題を考えさせる」「資料やグラフから分析して、理解する」といったことを踏まえての出題で、チラッと私も見ましたが、資料やグラフも確かに多くなり、出題者の創意工夫も充分伺えました。なぜ、大学の話なんかするのかと、思った人も多いと思いますが、高校入試も大学共通テストの出題傾向をととても参考にして、作成されることが多いからです。確かに、先日 1 年生、2 年生対象に実施された「チャレンジテスト」でも生徒どうし、あるいは先生と生徒などの会話を通じて疑問点を追求していく問題や、資料やグラフから問題解決を導くなど「考えさせる」問題がとて多くなっています。さらに各教科とも文章が長くなっていて、読解力が重要とされていることが分かります。国語もまるで理科の試験のようで、「科学論文」を読み解く問題が毎年のように出題されています。2 年生の数学では、学校と家との「時間と距離と速さのグラフ」からの出題でしたが、これは実は列車の「ダイヤ時刻表」の問題でした。この問題を見ていて、私は昔何かで聞いた「明治時代の列車の運行のためのダイヤ作成のエピソード」を思い起こしました。おそらく「都市伝説」の類と思いますが、簡単に紹介しますと、当時日本では双方向の列車が駅でうまくすれ違う運行計画が作れず、やむなくイギリスの技術者を高いお金（鉄道トップの鉄道局長の 1.5 倍）を払って雇っていました。彼は絶対にその方法を教えないでいましたが、掃除のおばちゃんが「くずかご」の中から、そのグラフの切れ端を見つけて「これは何だろう」と思って、上司に見せてその方法が分かったというのです。解れば中学 2 年生でも作成できることだったのです。少し、論点が飛躍しますが、現在新型コロナのワクチンが世界中で開発されていますが、開発競争に勝ったその国の利益だけを考えて暴利を得るというようなことがないようにしてほしいですね。経済的に豊かな国だけでなく、世界中の人が元気で安心して生活できることを願っています。

### 元気アップ学習会のお知らせ

冒頭でも述べましたが、3 年生はいよいよ受験本番ですね。体調を整え、悔いのないように受験に取り組んでください。詳細は配布した「元気アップ学習会のお知らせ」をご覧ください。直前の勉強方法についてもアドバイスしたいと思っています。2 年生でも私学入試の後には 2 年生中心の学習会にシフトしていきますので、「おしらせ」をよく見て、積極的に参加してください。